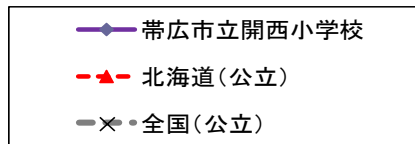


# 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日(火)に行われました、全国学力・学習状況調査の結果について、本校の概要をお知らせいたします。

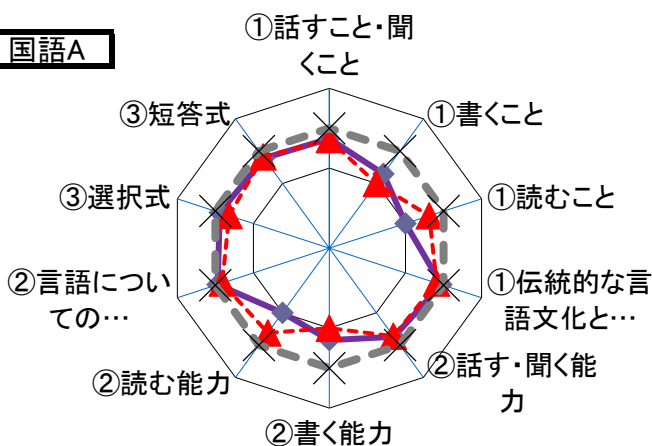
本調査により測定できるのは子どもたちが身につけるべき学力の特定の一部であり、教育活動の一側面に過ぎないことをふまえながらも、これまでの指導との関連を図りつつ今後の指導の活かしていきたいと考えています。



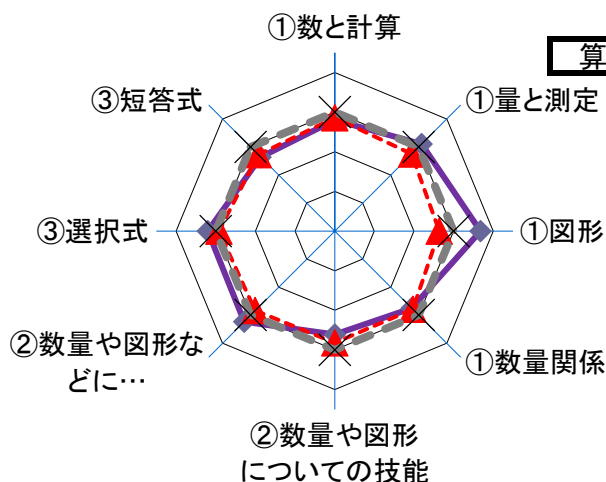
## ◆学力の概要

- 国語A(知識を問う問題)では、全道平均は全国平均とほぼ同じと言えます。本校の結果は全道平均と全く同じであり、全国平均ともほぼ同じでした。国語における基礎・基本については、十分な成果が見られました。しかしながら、「読む領域」について正しくできている児童とそうでない児童の個人差がありました。
- 国語B(活用を問う問題)についても、全道平均は全国平均とほぼ同じと言えます。本校は全道平均をごく僅かに下回りましたが、ほぼ同じ結果と言えます。「話すこと・聞くこと」の領域で十分な成果が見られました。
- 算数A(知識を問う問題)では、全道平均は全国平均にかなり近く、ほぼ同じと言えます。本校は全国と全道の平均点の間ですが、どちらとも差は僅かです。「量と測定」「図形」の学習事項の定着に十分な成果が見られました。
- 算数B(活用を問う問題)では、全道平均は全国平均とほぼ同じと言えます。本校の結果は、全道平均と全く同じであり全国平均ともほぼ同じでした。与えられた情報から答えを導き、その判断の理由を記述することに課題が見られました。

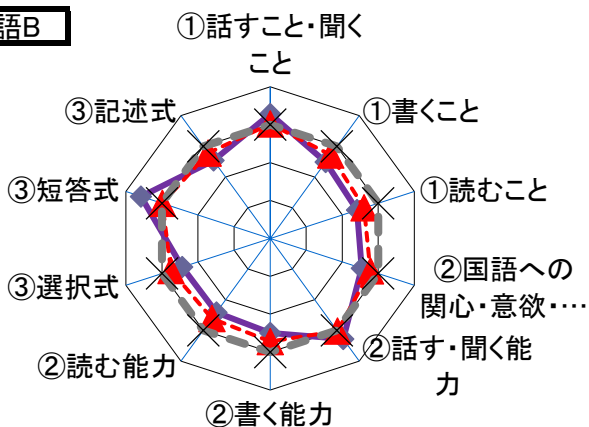
### 国語A



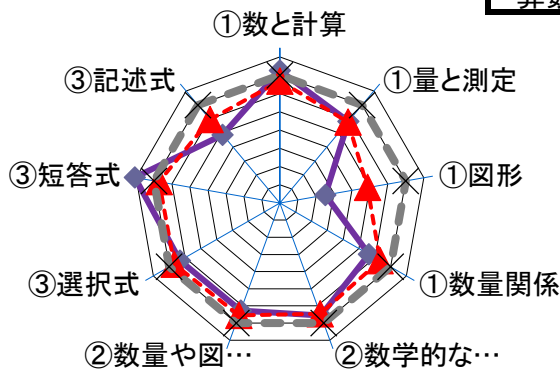
### 算数A



### 国語B



### 算数B



## ◆学習状況の概要

児童質問紙では、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」「毎日同じくらいの時刻に寝る」の質問には、全道・全国平均より「あてはまる」と答えた児童が多かったです。「家の人と将来のことについて話すことがある」「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る」の質問には、全道・全国平均より「あてはまる」と答えた児童が少ない結果となりました。

## ◇これらの結果を受け

これまで同様に今後も学校では以下の視点を大切にしていきたいと考えます。

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得については、学ぶ楽しさを味わわせながら、繰り返し学習や体験的活動を重視するなど、発達や学年の段階に応じて習得させ、学習の基盤を育てていきます。
- 様々な場面で、「書く」活動に取り組み、自分の考えや思いをまとめ、説明できるように指導を継続します。
- つまずきやすい内容については、重点的に取り扱ったり、個別に指導したりするなど、より確実な定着を図り、わかる喜びを実感させていきます。
- 保護者の理解・協力のもと、自学自習の態度や学習習慣の確立・学習意欲の向上・読書活動の充実に努めていきます。